



連合自治会ニュース

平成23年度に向かって

連合自治会長 花村 誠

師走に入り、ひとしお寒さを感じる朝夕、暖房が欲しい今日このごろです。

平成22年は内外に於いて、色々な出来事が目まぐるしく動いた年でした。私ども連合自治会では、主要課題は皆様のご協力でかなり成果をあげつつあることを心より感謝申し上げます。

来年はどんな年になるだろうか。そんななかで、

- 地区社協と新地域社会づくり委員会が統合することにより、地区社協が新体制で発足され、連合自治会も尚一層の連携が必要とされます（22年11月中に各種団体で意見集約して、12月9日の社協理事会で説明されました。）
- かねて地域の皆様から要望が強くありました、在宅介護サービスセンターが、地区内の京町に実現する運びになりそうです。橋北地区の活性化にも大きく反映されるものと思います。
- 東西小学校の統合問題は、都市マスタープランと合わせて、町づくりの重要なプロセスでもあり、連合自治会では市行政にボールを投げてありますので、返球を見極めて早々に全力で取り組む所存です。皆様のご理解と尚一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

自治会活動の紹介

浜一色町西自治会



私達の町は、海蔵川の南側に面し、旧東海道の両側に位置しています。

かつては両側の町並みに商店が並び、日常生活においては雑貨・賄いなどは全て整ったにぎやか町で、現在は土地を離れた方々もあって少々は減少したものの、浜一色町1番組・2番組も統合により、120世帯・275人（H22.10.1現在）の自治会です。新しい自治会では、防災・空家・密集地域・ゴミ置き場など問題を多く抱えています。

課題を一つひとつクリアしていく為にも、昨年より消火器を各組長さんが管理されているのを、屋外に格納庫を設置して活動範囲を広げ、能力を生かすようにまた空家対策では6軒ほどの取り壊しもあって、駐車場・新築家屋に変貌しつつあります。また、1号線に行くための歩道橋にも手すりを取り付けていただき、歩行者・自転車の安全のU字溝の改修など、土木要望事項も進行中です。

課題ばかりではありません。年1度の海蔵川河川敷でのお花見会は、自治会あげてのイベントで、親睦・交流の場でもあります。地区の皆さんのニーズに合わせた環境づくりに心がけ、また課題に取り組んでいきたいと考えています。

(浜一色町西自治会長 佐川 終造)



橋北地区連合自治会 文化・広報部

発行責任者 花村 誠

編集責任者 高波 功